

太曆ニ云、曆應二年、伊勢國不通達之間、先被行御下、用參河國設樂山畢ヌトアリ、コハ大神宮御遷宮ノ御材木ヲ採レルナリ、○中當郡今モ設樂郡ト稱ヒテ、高二万五百十四石餘アリ、村數ハ、春雨

咄ニ二百六十五村、二葉松ニ百八十四村、刪補ニ百八十七村、三川堤二百十六村ヲ舉タリ、

〔地名字音轉用例〕入聲ツノ韻ヲ同行ノ音ニ通用シタル例

しだら 設樂郡志太良 設ヲシダニ用ヒタリ○中

サノ行リノ音同行通用セル例

シダラ 設樂郡志太良 設ヲシダニ用ヒタリ

〔康正二年造内裏段錢并國役引付〕合○中

一貫文 杉山彈正左衛門尉殿三川國設樂郡段錢 二貫五十文 疋田孫左衛門丞殿三川國設樂郡段錢○節略

八名郡

〔參河國古蹟考〕三八名○也 民部式廿二、拾芥抄四同、當郡ハ

世系志ニ云、平姓高力氏直鎮云々、賜三州梁郡、○中當郡今モ八名郡ト稱テ、高一万八千六百九十

石餘アリ、村員ハ、春雨咄ニ五十三村、二葉松ニ七十村、三川堤ニ八十九村ヲ舉タリ、

渥美郡

〔參河國古蹟考〕三渥美阿豆 民部式廿二、拾芥抄四同、當郡渥美郷

當郡今モ渥美郡ト稱テ、高四万六百七十四石餘アリ、三川堤ニハ、四万六千、村員ハ、春雨咄ニ八十

一村、二葉松九十村、刪補松九十三村、三川堤ニハ八十六村ヲ舉タリ、

〔大神宮諸雜事記〕抑皇太神宮勅託宣僞、我天宮御宇之時、天下四方國攝錄、可天下宮所、放光明見

定置先畢、仍彼所可行幸御之由、宣倭姬内親王奉載天、○次三河國渥美郡一宿御坐、國造進渥美神

戶、

〔三代實錄四清和〕貞觀二年八月十四日辛卯、參河國獻銅鐸一、高三尺四寸、徑一尺四寸、於渥美郡村松

山中獲之、或曰是阿育王之寶鐸也、